

目的

教員の資質・能力の向上

【教員】

○自身のキャリアステージにおける必要な資質能力を把握し、その向上に向けた目標設定の指標として活用する

【学校・教育委員会】

○教員研修の目標や目的の明確化、研修の計画や具体的内容の立案の際の指標として活用する

背景・課題

【社会の急速な進展】

○知識基盤社会の到来、グローバル化・情報化の急速な進展、AIの発達、IoTの普及、人材の県外流出など

【学校を取り巻く変化】

○大量退職・大量採用、学校教育課題の多様化・複雑化、教員の多忙化、新学習指導要領の実施

本県教育の取組

【学力・体力の向上】

○「やまなしスタンダード」を活用した授業改善、一校一実践「学びの甲斐善八か条」等を活用した家庭学習の定着

【しなやかな心の育成】

○「やまなし道徳教育研究推進事業」及び「しなやかな心の育成推進事業」の展開

【キャリア教育の推進】

○ふるさと山梨を担う人材の創生

【社会の変化への対応】

- 学校安全・防災教育の充実
- ICT活用指導力の向上、情報教育の推進
- 英語指導力の強化、英語教育の推進
- 特別支援教育の更なる充実

基本的な考え方

教職を担うにあたり必要な、使命感や責任感、児童生徒への教育的愛情を持ち、自らの資質能力の向上に意欲的に取り組み、学び続ける教員の育成

山梨県の教員に求められる資質能力



キャリアステージの区分

採用時

教育に対する情熱と使命感を有し、今日の教育的課題を積極的にとらえようとしている

第1ステージ
実践力養成期

実践力を磨き、教員としての基礎を築いている

第2ステージ
専門性充実期・協働力養成期

専門性を高め、ミドルリーダーとして組織を活性化している

第3ステージ
指導力・協働力完成期

豊富な経験と広い視野から総合的な指導力・協働力を発揮し、積極的に学校運営を支えている

校長

信頼される学校経営を行う